

キャンプファイヤー

概 要		キャンプファイヤーは野外活動の中で最も印象に残るものであり、思い出となるものである。したがって、その内容やねらいをどのように扱うかがポイントとなる。
ねらいとして考えられること		①レクリエーションを取り入れることで親睦を図る。 ②役割分担し準備することで、人間関係を深める。 ③自然に親しむとともに、自然について考える。
対象学年		小学校中学年から
人 数		別紙参照
場 所		ファイヤーサークル、キャンプ場グラウンド、スポーツグラウンド
時 間		2時間～2時間30分（レクリエーション含む）
指 導 員		自主活動
活動時期		6月～10月
経 費		キャンプファイヤー用薪2束分 900円（持込可）
事前に準備するもの		トーチ4本、活動シナリオ（必ずリハーサルをしておく）、音響機器、音楽等
引率者の役割	活動前	①指導員と所要時間と指導内容を確認する。 ②トイレに行かせる。 ③5分前までに所定場所に整列させ、人員確認する。 ④活動内容や注意事項を知らせる。
	活動中	・無駄話やいたずらなど進行の妨げになる言動があれば、適宜注意する。
	活動後	①所定の場所に整列させ、人員確認する。 ②ふりかえりをする。 ③貸出用具があれば返却する。 ④火の始末を確実に行う。
安全上の留意点		・炎のそばに行かせない、火遊びさせない、火の粉に注意する。 ・指導員の指示に従う
そ の 他		